

2025年12月6日 守屋山

L 谷内、岩田、福田、辻、伊藤、森田、小野木、有賀(記録)

今日の山行は「陽だまりハイク」と名付けられた忘年山行です。近場で軽い山登りを行った後、夜にしらびそ山の会の忘年会を行うのが毎年の恒例となっています。通常は午前5時に集合場所を出発することが多いのですが、今回は登山口まで30分ほどと近い為、午前7時の集合出発となりました。6時半過ぎに自宅前の駐車場に停めた車のエンジンを掛けようとして外に出ると、明け方の放射冷却現象によりフロントガラス一面に霜がぎっしり。慌ててエンジンを掛けると車内モニターは-6°Cを示していました。そういえば今シーズン最強寒波の到来と天気予報で言っていたことを思い出しました。集合場所の駐車場に着くと1名体調不良で参加取りやめという事で、ご本人にとっては大変残念でした。

登り始めは落ち葉が深く積もった道で、時にくるぶしあたりまでかかるほどあり、見えない地面を探りながら歩を進めましたが、乾いた落ち葉は意外と滑りやすく、少し歩きづらさを感じました。30分ほど登ると、このコースの特徴である岩場に差し掛かりました。岩場には亀岩、夫婦岩、鬼ヶ城など一目でそれとわかる名前が付けられているものもあれば、

ウーン？というのもあり名付け親の思い入れか、などと思ったりして（私の主観です）。前嶺、守屋山東峰を経て計画どおり10時に守屋山西峰に到着。今日は雲ひとつない絶好の快晴で、眼下の諏訪湖から東へ順に八ヶ岳、南アルプス、中央アルプス、御嶽、乗鞍、北アルプスとぐるり一周360度のパノラマが広がっていました。

西峰から少し戻った所の小屋に隣接して、ちょうど我々8名が入れるくらいの半透明のタキロンで囲った休憩所があり、運よく空いていたのでそこで大休憩を摂ることにしました。今日のメインメニューはお汁粉です。鍋で湯を沸かし、あんこを溶かした中に薄い板状の餅を入れて完成。湯気が立ちのぼる中、皆で分けて各自持参した食料と共においしくいただきました。

腹を満たした後は山を下るのみ。帰路は往路と道を違え、東峰から南に下って周回するように進路をとった前半は途中まで一気に下り、後半はほぼトラバースで立石登山口まで戻ってきました。帰り道、皆の気持ちは既に夜の忘年会に向いていました。会員の一人が原村でペンションをやっておりそこを会場に集まります。そのための買い出しが待っていて担当者はゆっくりもしていられませんが、とりあえずは山行お疲れ様でした。

【コースタイム】 天候；快晴

AM7：40 立石登山口入り口出発—9：00 前嶺—9：30 東峰—10：00～10：50 守屋山山頂
11：20 東峰—12：15 立石登山口入り口帰着